

2024年度(2025年3月期) 第2四半期 決算説明資料

2024年11月
阪和興業株式会社

- 1. 2024年度第2四半期決算概要**
- 2. 中期経営計画2025の進捗状況**
- 3. セグメント別の詳細**

1. 2024年度第2四半期決算概要

連結業績サマリ

- 2024年度上期の経常利益は281億円、通期見通し600億円に対する進捗率は47%
- 通期見通しについては据え置き

	2023年度 上期	2024年度 上期	増減額 (増減率)	2024年度 通期見通し	進捗率
売上高	12,012	12,586	+573 (+5%)	28,000	45%
売上総利益	602	659	+56 (+9%)	—	—
営業利益	263	288	+25 (+10%)	610	47%
経常利益	274	281	+6 (+3%)	600	47%
当期純利益 ※ 1	190	202	+11 (+6%)	430	47%
鉄鋼取扱重量 ※ 2	682万t	644万t	▲ 39万t (▲ 6%)	—	—

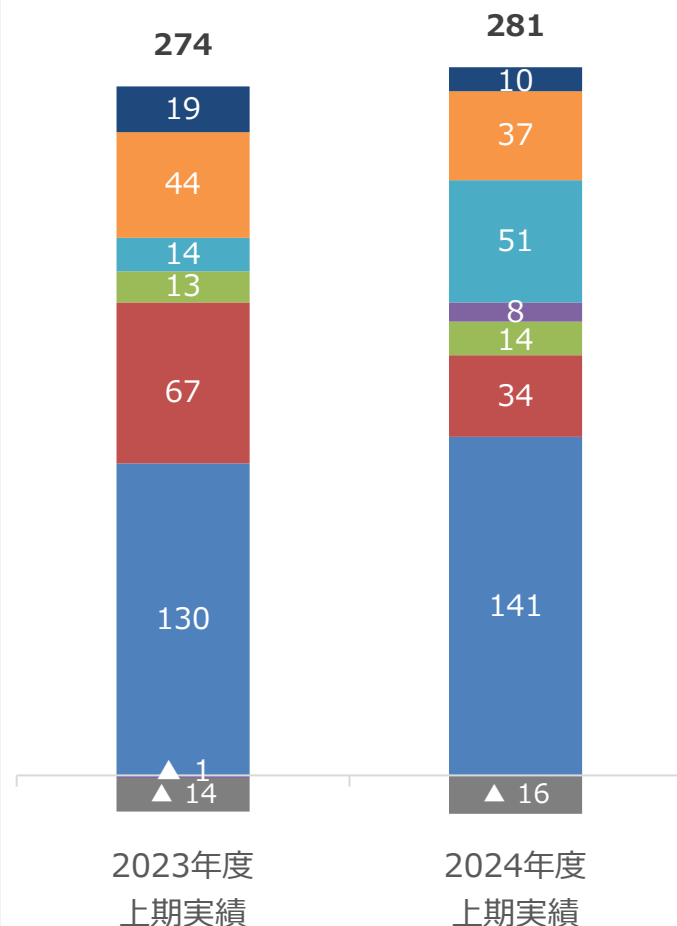
※1 本資料上の「当期純利益」は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指します

※2 鉄鋼取扱重量は、当社および連結子会社における鉄鋼取扱重量の単純合算です

事業セグメント別経常利益

(億円)

セグメント損益（経常利益）



セグメント	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	前年同期比
鉄鋼	130	141	+11 (+8%)
プライマリーメタル	67	34	▲32 (▲ 49%)
リサイクルメタル	13	14	+1 (+10%)
食品	▲1	8	+9 -
エネルギー・生活資材	14	51	+36 (+253%)
海外販売子会社	44	37	▲7 (▲ 17%)
その他	19	10	▲9 (▲ 46%)
調整	▲14	▲16	▲1 -
合計	274	281	+6 (+3%)

主な増減要因
鋼板や線材などの取扱数量は減少したものの、収益性の高い国内建設分野が堅調に推移し増益
海外向け取引が拡大したものの、各種商材の市況下落や、SAMANCOR社の持分法による投資利益減少により減益
貴金属地金やアルミスクラップの取扱数量が増加し増収 銅・アルミなどが堅調に推移し増益
取扱数量は横ばいであったものの、カニを中心に食品価格が高値で推移し増益
船舶用石油関連の取扱量が大幅に増加したことや、 化学品関連の取扱数量の増加や単価の上昇により増益
中国における新規取引拡大や、新規連結子会社の影響により増収となった一方、アジア圏の鉄鋼製品市況低迷により減益
住宅資材：木材価格が下落し減益 機械：大型完工物件が前期比で少なく減益

※ 報告セグメントの区分見直しに伴うセグメント業績修正後

事業セグメント別経常利益（四半期推移）

(億円)

セグメント	2023年度					2024年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
鉄鋼	82	47	90	23	245	77	64			141
プライマリー メタル	40	26	▲ 2	20	84	11	22			34
リサイクル メタル	11	1	3	4	21	7	7			14
食品	4	▲ 6	12	2	13	3	4			8
エネルギー・ 生活資材	13	1	36	14	65	14	36			51
海外販売子会社	20	24	20	12	78	16	20			37
その他	15	4	6	12	38	9	1			10
調整	▲ 29	14	▲ 12	▲ 36	▲ 64	▲ 18	1			▲ 16
合計	160	114	154	53	482	123	157			281

※ 報告セグメントの区分見直しに伴うセグメント業績修正後

事業セグメント別経常利益の進捗状況

(億円)

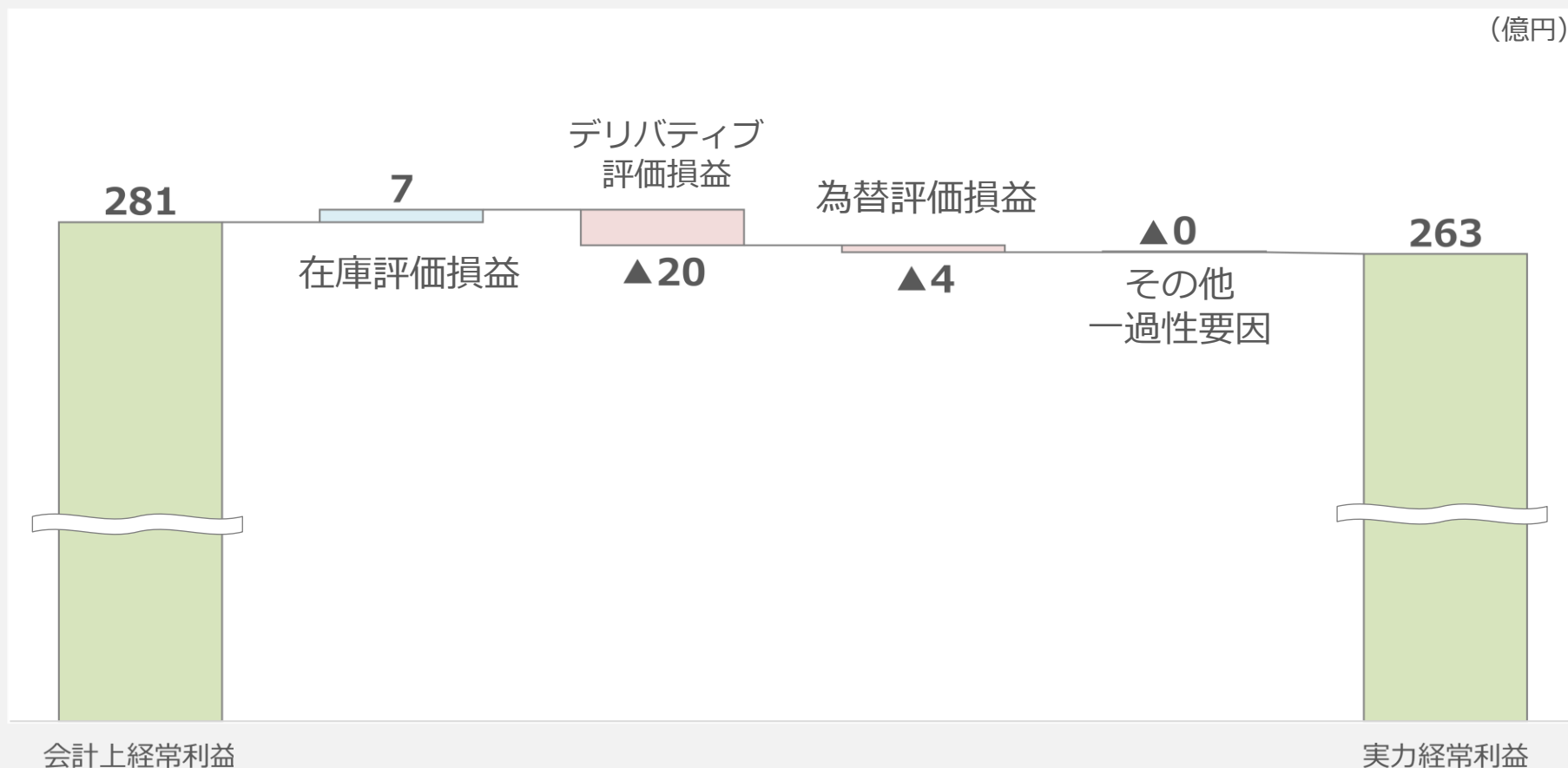
セグメント	2024年度通期業績予想			2024年度 上期実績	上期進捗率	通期進捗率	進捗状況
	上期	下期	通期				
鉄鋼	120	150	270	141	118%	52%	鋼材価格が概ね横ばいで推移する中、物流倉庫向け設備需要が旺盛であったほか、一部物件の前倒しなどもあり好調
プライマリー メタル	65	65	130	34	52%	26%	SAMANCOR社の持分法による投資利益の取り込みが期初予想を下回ったほか、出資先からの配当が一部下期にずれ込んだことにより低迷
リサイクル メタル	15	15	30	14	100%	50%	ニッケル相場低迷によりニッケル系スクラップが不調であったものの、銅、アルミスクラップの-marginが改善したほか、貴金属の取扱いが増加
食品	10	20	30	8	81%	27%	一部魚種において禁漁により取扱いが減少したほか、円安進行による調達コスト上昇及び販売数量が低迷
エネルギー・ 生活資材	50	70	120	51	103%	43%	一部需要家の工場トラブルや定期修繕によりバイオマス燃料の供給が低迷したものの、石油製品において一部利益率の高い取引が増加
海外販売子会社	40	40	80	37	93%	46%	中国における新規取引拡大や、タイにおけるアルミスクラップ取扱が増量したものの、アジア圏の市況低迷による鉄鋼製品取扱いが伸び悩み、marginも減少傾向
その他	10	10	20	10	108%	54%	木材市況が低迷した一方で、利益率の高い商材の取引が堅調に推移
調整	▲ 40	▲ 40	▲ 80	▲ 16	-	-	
合計	270	330	600	281	104%	47%	

※ 報告セグメントの区分見直しに伴うセグメント業績予想数値修正後

期末時価評価・一過性損益の影響

- 会計上の経常利益281億円に対し、**実力経常利益※は263億円**（前年同期比▲33億円）
（前年同期は会計上の経常利益274億円に対し、実力経常利益296億円）

※会計上の経常利益から、期末の在庫評価損益およびデリバティブ評価損益、為替評価損益、その他一過性の損益の影響を控除し算出しております。
なお、当社基幹システムの変更に伴い、為替評価損益の要因分析に関わる精度が高まったため、本第2四半期より為替評価損益についての抽出方法を変更しております。事業セグメント別の内訳ならびに本第1四半期の為替評価損益及び実力経常利益についてはP.28,29をご参照ください。



連結財政状態

(億円)

	2024年3月末	2024年9月末	増減 (増減率)	主な増減内容
総資産	11,669	11,658	▲10 (▲0%)	売上債権や現金及び預金の減少などにより減少
株主資本	3,042	3,186	+144 (+5%)	
自己資本	3,512	3,631	+119 (+3%)	利益剰余金の積み上がりや為替換算調整勘定などの変動により増加
自己資本比率 (ハイブリッドローン考慮後)	30.1% (32.2%)	31.1% (33.3%)	+1.1pt	
有利子負債	3,654	3,858	+203 (+6%)	
純有利子負債	2,889	3,289	+400 (+14%)	長短借入金の増加などにより増加
Net DER (ハイブリッドローン考慮後)	0.8倍 (0.7倍)	0.9倍 (0.8倍)	+0.1倍	

2. 中期経営計画2025の進捗状況

政策保有株式の縮減状況

- 今年度上期では9銘柄21.7億円の売却を実施
- さらなる縮減を達成するべく、2024年度も継続して売却し、資本効率の改善や資産の入れ替えを進める

	24年3月末時点		24年9月末時点	
保有残高の 連結純資産比率	19.6%		17.1%	
売却実績 (累計)	55.9億円		21.7億円	
保有銘柄数	129銘柄 上場 65銘柄/非上場 64銘柄		122銘柄 上場 58銘柄/非上場 64銘柄 (▲7銘柄)	
2024年度上期 売却実績 サマリ	全株売却	8銘柄	19.1億円	
	一部売却	1銘柄	2.6億円	
	合計	9銘柄	21.7億円	
	売却決議済み (未売却および売却中)	4銘柄	13.5億円相当	

※上場株式1銘柄 1,716百万円 (24年9月末時点簿価) を取得しております (PMB TECHNOLOGY BERHADへの出資分、詳細はp.13)

セグメント	投融資額 2024年度上期	主な投融資案件	中計2025期間累計 (投融資枠800億円)
鉄鋼	33億円	海外コイルセンター子会社における工場新設	138億円
プライマリーメタル	19億円	PMB TECHNOLOGY BERHADへの出資 (P.13にて詳述)	20億円
リサイクルメタル	4億円	国内連結子会社の能力増強	9億円
食品	16億円	株式会社マルゴ福山水産のグループ会社化 (P.13にて詳述)	16億円
エネルギー・生活資材	2億円	国内連結子会社の能力増強	19億円
海外販売子会社	111億円	インドネシアにおける大和工業グループとの共同出資 (P.12にて詳述)	120億円
その他	42億円	シンクス株式会社の株式譲受け (P.13にて詳述)	48億円
全社	33億円	新基幹システム構築/増強、新規土地取得	49億円
合計	265億円		合計 421億円
■ 環境配慮資源ビジネス ■ 二次電池関連ビジネス ■ 高付加価値加工品ビジネス ■ 地産地消ビジネス (海外) ■ 国内既存ビジネス			進捗率 53%

インドネシアにおける電炉メーカーへの一部出資 (PT GARUDA YAMATO STEEL)



当社連結子会社のPT HANWA INDONESIA が、インドネシアの電炉メーカーであるPT GARUDA YAMATO STEEL (旧商号 PT NUSANTARA BAJA PROFIL) に対し**15%の出資を行い持分法適用関連会社化**

電炉製鉄事業をグローバルに営む大和工業グループと協業し、インドネシア国内での**地産地消型ビジネスの拡大を推進**

事業内容 : 鉄鋼製品の製造及び販売
公称能力 (年産) : 製鋼 100 万トン / 圧延 90万トン

工場外観



圧延の様子



GREEN ESTEEL PTE. LTD.への出資



当社子会社のHANWA SINGAPORE (PRIVATE) LTD.がシンガポールの鉄鋼・金属関連事業持株会社GREEN ESTEEL PTE. LTD. (以下、ESTEEL社)の新株発行による株式引受を行うことを決定

ESTEEL社は東マレーシアで還元鉄 (HBI: Hot Briquetted Iron) の新工場建設 (年間生産能力250万トン) を発表しており、当社は**ESTEELグループが製造するHBIの販売権を取得**し、日本をはじめ各国へ販売

HBIの使用により、従来の高炉法による製鋼に比べ二酸化炭素の排出量を削減することができ、**脱炭素化に向けた当社の冷鉄源事業を加速**

HBIを製造するシャフト炉



HBI製品



PMB TECHNOLOGY BERHAD への出資

マレーシア証券取引所上場のPMB TECHNOLOGY BERHAD (以下、PMB) の株式2,400万株を取得
PMBの完全子会社であるPMB SILICON SDN. BHD.社製品の**日本、韓国、ベトナム、タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシアにおける独占販売権および在外日系資本企業への独占販売権**を取得

また、啓和ファインマテリアル株式会社とともに、PMB SILICON社製の**金属シリコンを半導体産業および太陽電池産業向け原料に加工する合弁会社HK FINE MATERIAL SDN. BHD.の設立に合意**

PMB SILICON SDN. BHD. 工場外観



株式会社マルゴ福山水産 のグループ会社化

北海道稚内市の水産加工会社である株式会社マルゴ福山水産の80%の株式を取得し、グループ会社化

売上高 : 38億円 (2023年12月期)

主にホタテなどの、北海道北部で水揚げされる水産物を冷凍加工し販売。既存の当社食品系グループ会社の強みである**加工機能の強化と海外向け販売を促進し、食品部門全体でのシナジー効果**に期待

工場外観



選別作業の様子



メイン商材であるホタテ貝



シックス株式会社の株式譲受け



静岡に本社を置く、木工加工機、鉄鋼加工機の製造・販売を行うシックス株式会社 (以下、シックス) の株式100%を、マーキュリア日本産業成長支援投資事業有限責任組合より譲受け

事業拠点 : 全国13か所、工場 1か所
売上高 : 61億円 (2024年3月期)

当社ネットワークを通じたシックス製機械の国内外での更なる拡販や、ユーザーに応じた迅速なサポートが各事業拠点から可能となり、当社産業機械部門の成長と共に大きなシナジー効果を見込む

本社工場外観



H形鋼開先加工機



3. セグメント別の詳細

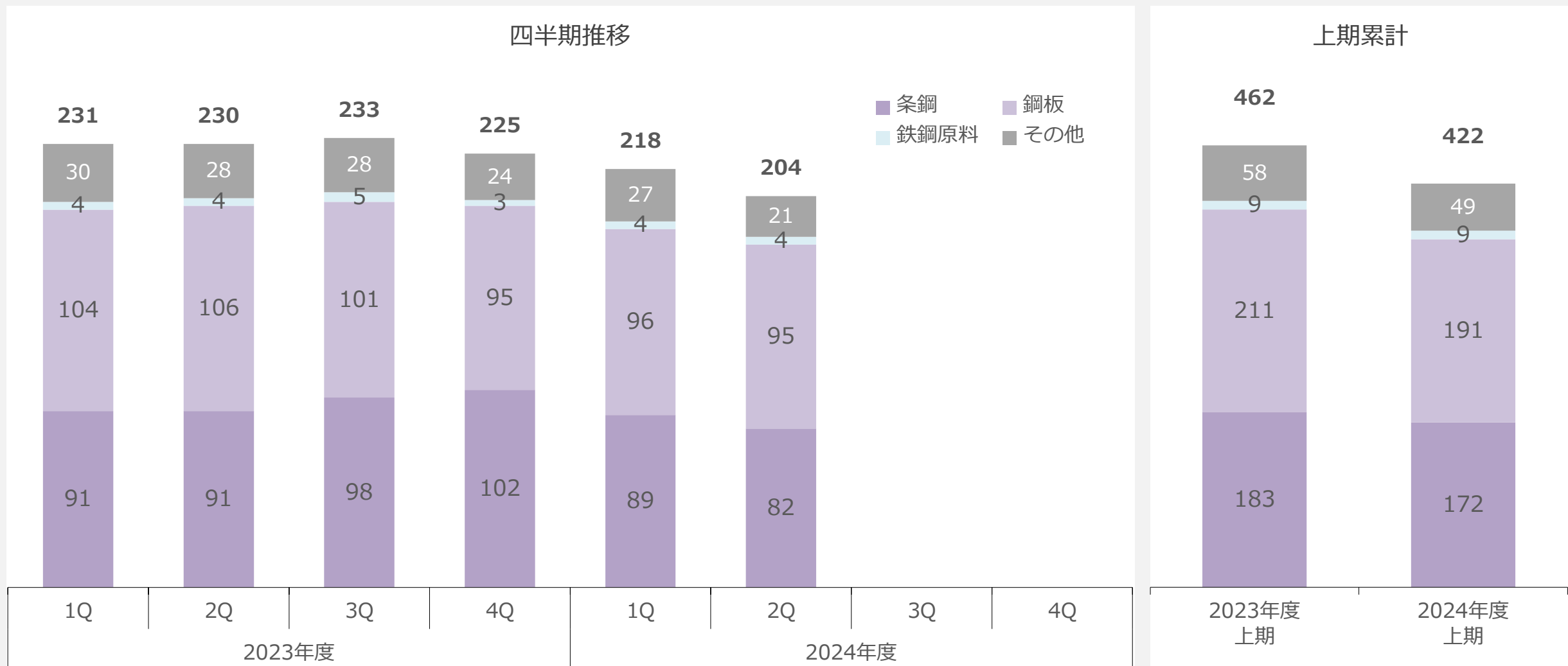
- ・ 鋼板や線材などの取扱数量が減少し収益を押し下げた一方で、収益性の高い国内建設分野が堅調に推移したことが利益を押し上げ

	(億円)	2023年度					2024年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高		3,078	2,999	2,929	3,011	12,019	2,939	2,900			5,839
経常利益		82	47	90	23	245	77	64			141
単体		71	46	85	25	229	71	62			134
国内連結子会社		11	11	21	13	57	9	10			19
海外連結子会社		10	▲ 2	▲ 4	▲ 7	▲ 5	3	▲ 4			▲ 1
持分法投資損益		1	▲ 4	▲ 0	▲ 3	▲ 6	3	▲ 0			2
調整		▲ 13	▲ 2	▲ 11	▲ 3	▲ 30	▲ 10	▲ 3			▲ 13

※ 報告セグメントの区分見直しに伴うセグメント業績修正後

取扱量推移 (連結※)

(万t)



※ 鉄鋼事業セグメントに属する当社単体事業、国内鉄鋼関連子会社、海外コイルセンター子会社等の鉄鋼取扱量の単純合算
 全ての事業セグメントでの鉄鋼総取扱重量はP.3を参照

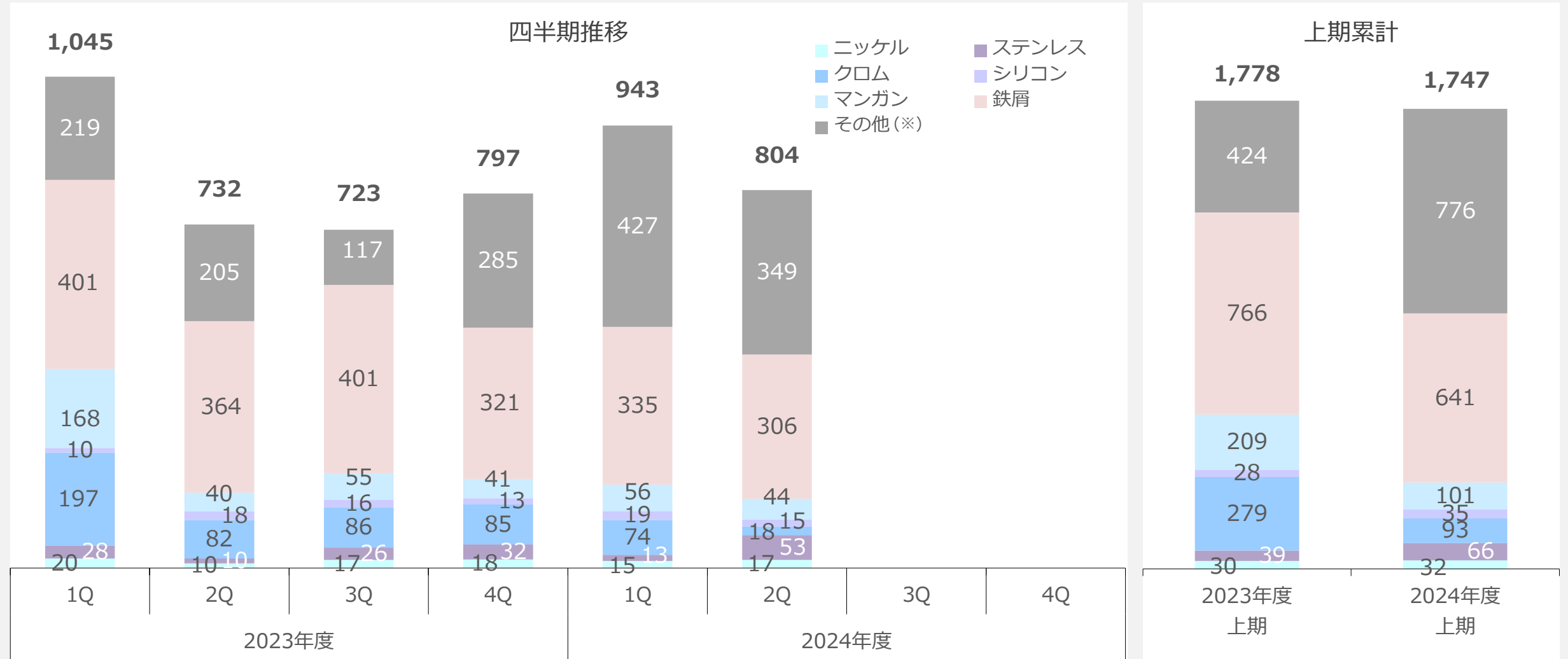
- ・ 海外向け取引が拡大したものの、各種商材の市況が下落したことやSAMANCOR社からの持分法による投資利益が減少し、利益を押し下げ

	(億円)	2023年度					2024年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高		538	433	439	463	1,874	458	538			997
経常利益		40	26	▲ 2	20	84	11	22			34
単体		40	6	2	4	54	8	16			25
国内連結子会社		▲ 0	▲ 0	▲ 0	1	1	▲ 0	▲ 0			▲ 0
海外連結子会社		—	—	—	—	—	—	—			—
持分法投資損益		▲ 0	20	▲ 5	16	30	2	5			8
調整		0	0	0	▲ 2	▲ 2	▲ 0	▲ 0			▲ 0

※ 報告セグメントの区分見直しに伴うセグメント業績修正後

取扱量推移 (当社単体)

(千t)



※「その他」には、硫黄、硫酸、石炭などの副資材（副原料）に関わるスポット商売の取扱量を含む。

リサイクルメタル事業

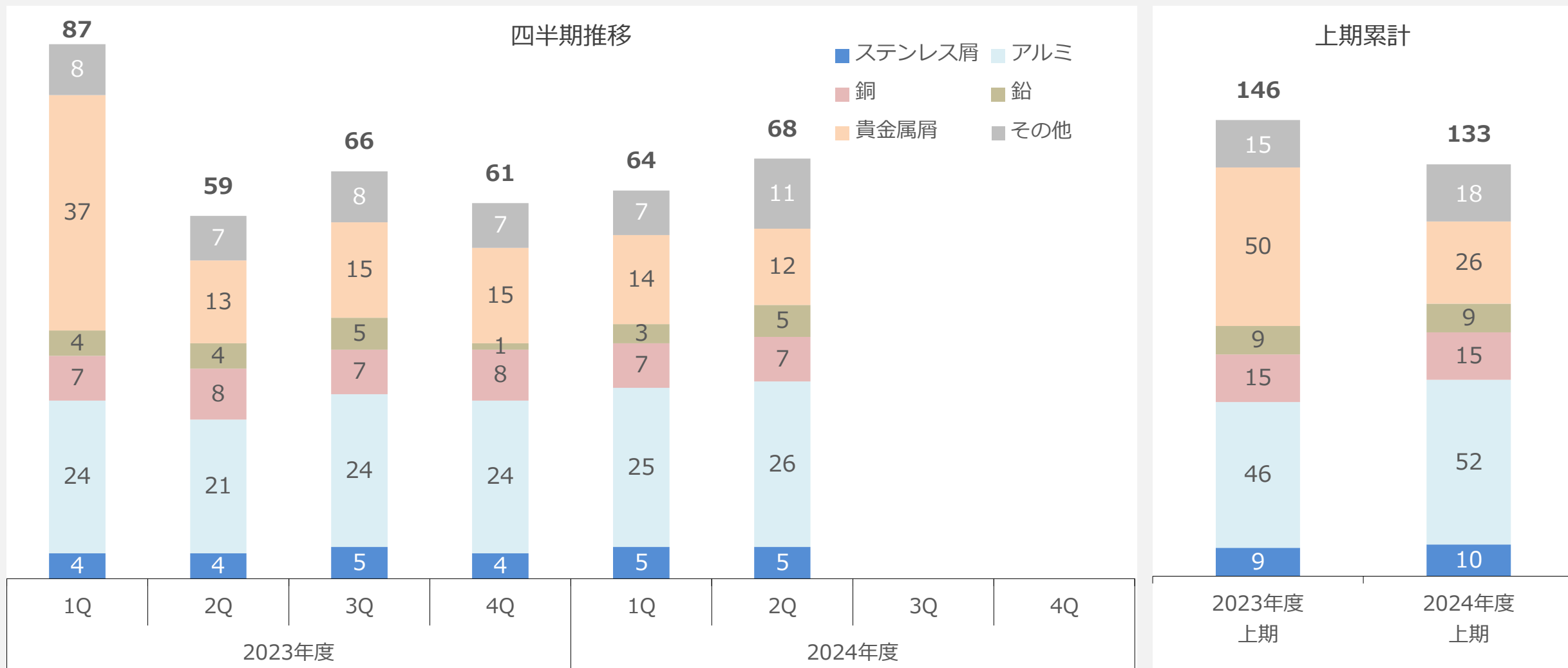
- ・ 貴金属地金やアルミスクラップの取扱数量が増加し収益を押し上げ
- ・ ニッケル相場が前年同期に比べ安値で推移したものの、銅・アルミ相場などが堅調に推移し利益を押し上げ

	2023年度					2024年度					
	(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高		456	416	429	505	1,808	540	550			1,091
経常利益		11	1	3	4	21	7	7			14
単体		12	0	2	3	19	5	6			11
国内連結子会社		0	1	2	1	6	2	▲0			2
海外連結子会社		▲0	▲0	▲0	▲1	▲3	▲0	▲0			▲0
持分法投資損益		0	0	0	0	0	0	0			0
調整		▲1	0	▲0	▲0	▲1	▲0	0			0

※ 報告セグメントの区分見直しに伴うセグメント業績修正後

取扱量推移 (当社単体)

(千t)

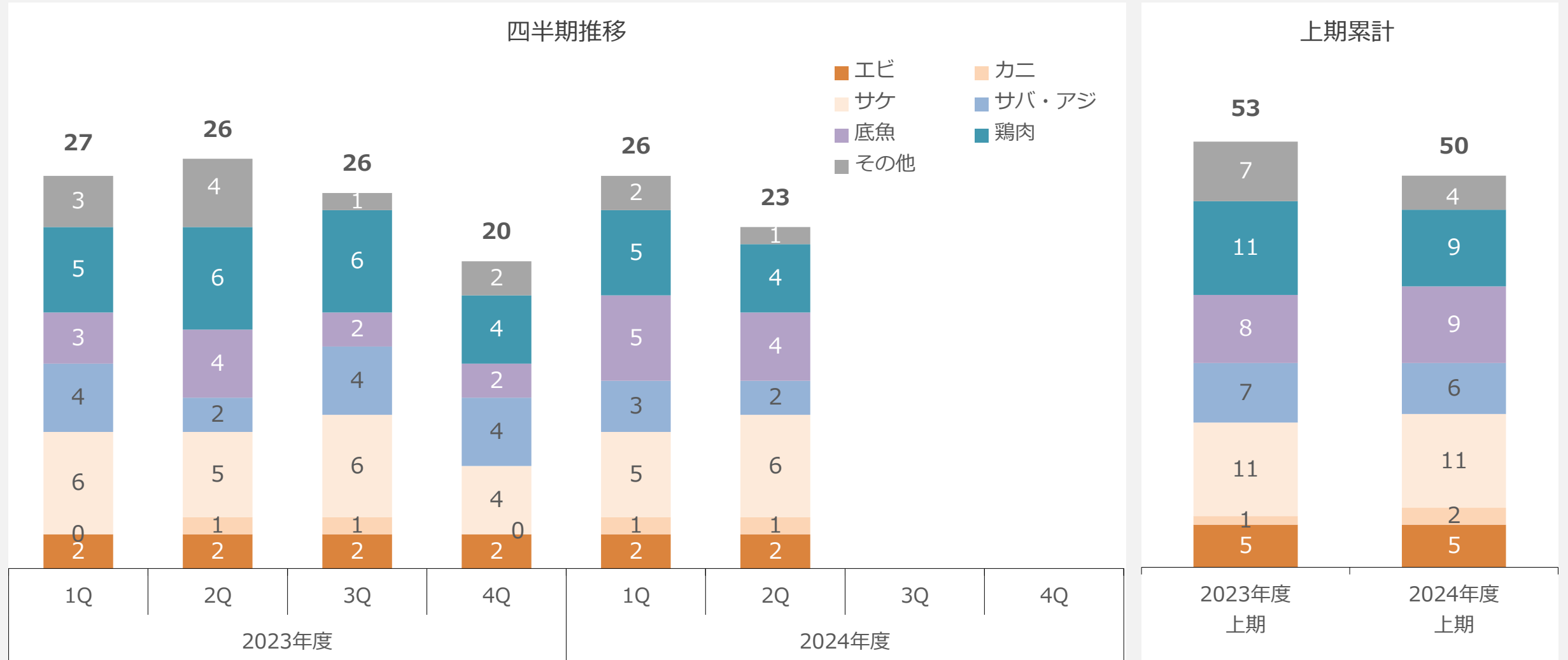


・取扱数量は横ばいであったもののカニを中心に食品価格が前年同期に比べ高値で推移し収益・利益を押し上げ

	(億円)	2023年度					2024年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高		287	325	368	247	1,229	293	365			658
経常利益		4	▲ 6	12	2	13	3	4			8
単体		8	▲ 16	18	2	13	5	1			6
国内連結子会社		0	0	3	▲ 0	4	0	0			0
海外連結子会社		▲ 2	0	0	0	▲ 2	0	1			2
持分法投資損益		—	—	—	—	—	—	—			—
調整		▲ 1	9	▲ 9	0	▲ 1	▲ 2	1			▲ 1

取扱量推移 (当社単体)

(千t)

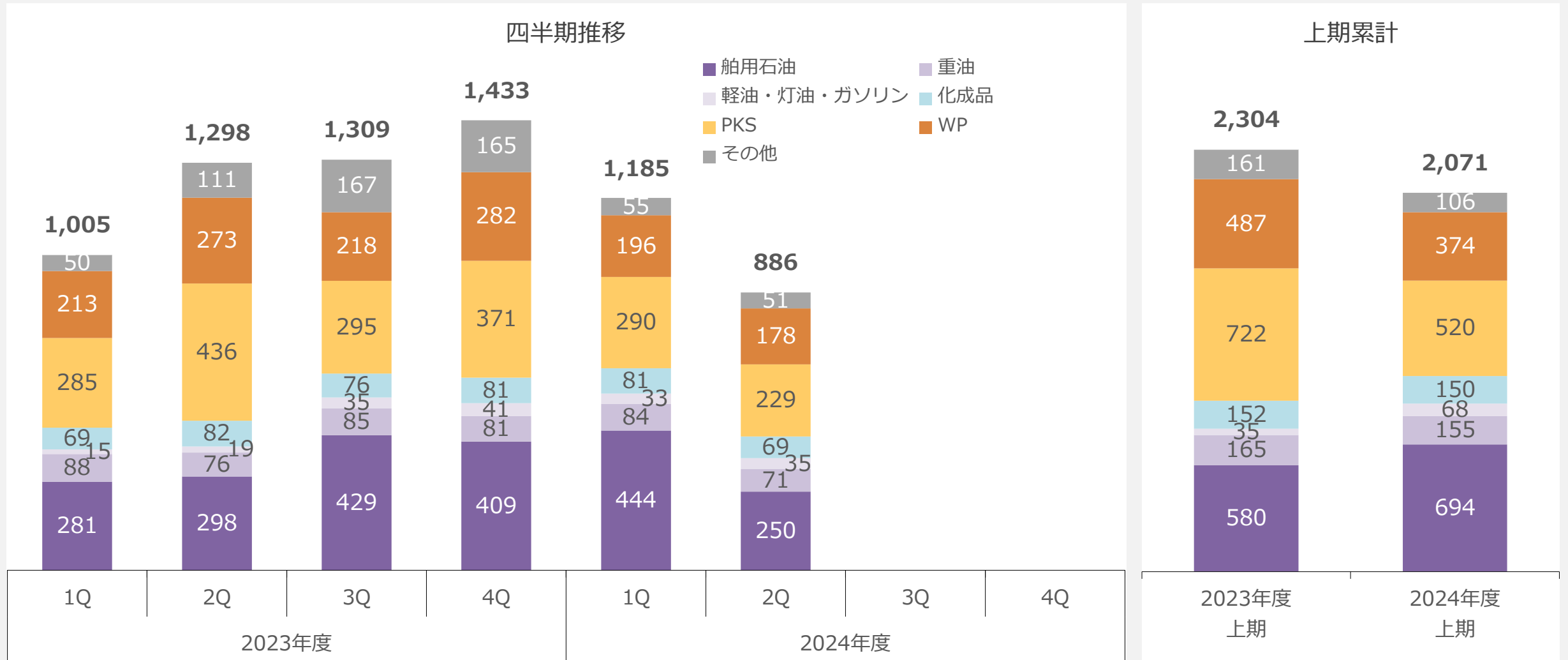


- ・ 船用石油関連の取扱数量が大幅に増加し収益を押し上げ
- ・ 化学品関連の取扱数量が増加したことや販売単価が上昇したことも収益・利益を押し上げ

	2023年度					2024年度					
	(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高		690	813	971	990	3,465	936	909			1,845
経常利益		13	1	36	14	65	14	36			51
単体		24	7	25	20	77	19	26			45
国内連結子会社		▲ 2	▲ 6	10	2	3	▲ 3	9			6
海外連結子会社		—	—	—	—	—	—	—			—
持分法投資損益		0	0	0	▲ 0	1	0	0			0
調整		▲ 9	0	▲ 0	▲ 7	▲ 16	▲ 1	▲ 0			▲ 1

取扱量推移 (当社単体)

(千t)



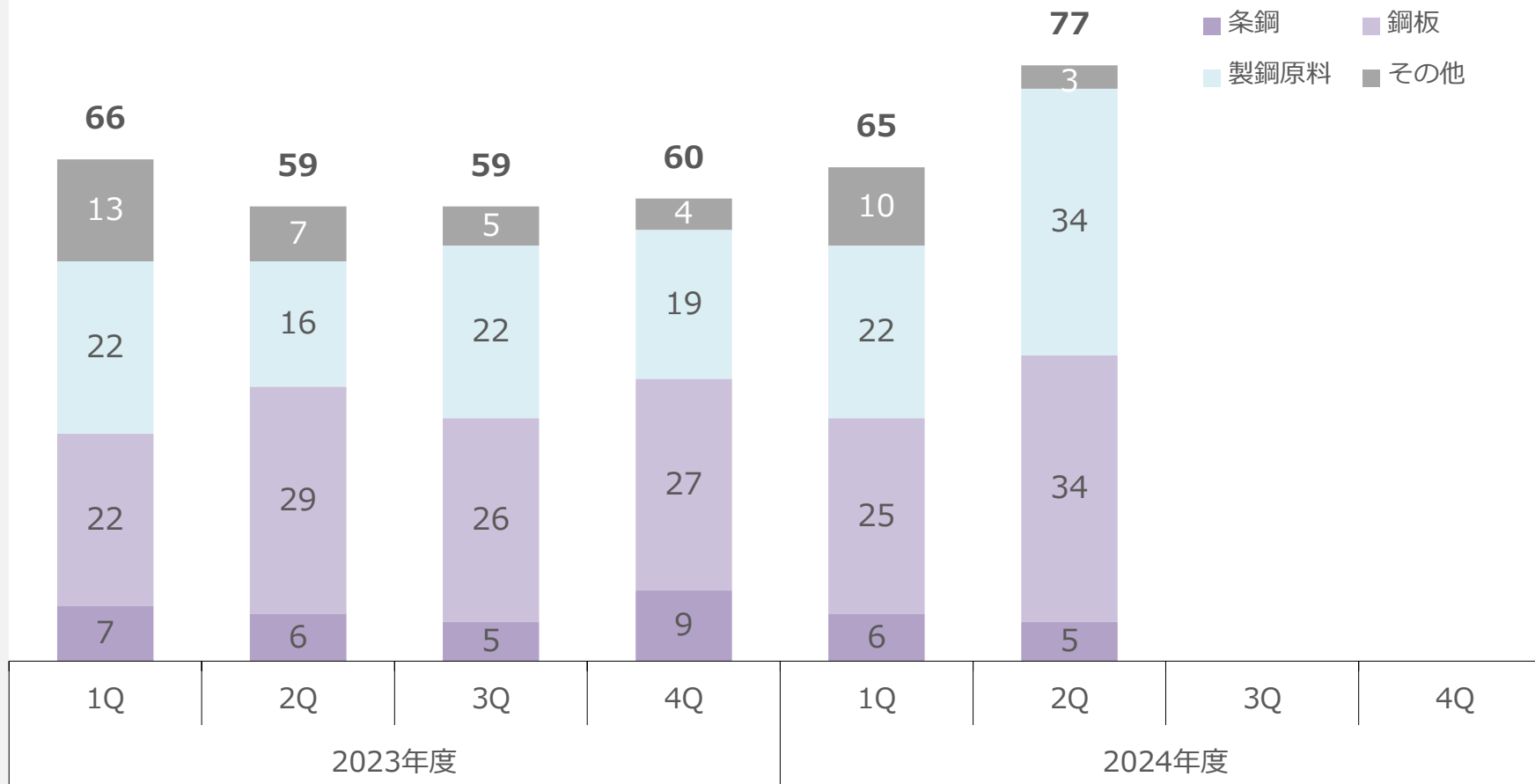
- ・ 中国において新規取引が拡大したことや、これまで非連結子会社としていた拠点を新たに連結子会社としたことにより増収
- ・ アジア地域を中心に鉄鋼製品価格が前年同期に比べ安値で推移し利益を押し下げ

	(億円)	2023年度					2024年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高		867	835	885	800	3,389	975	1,084			2,059
経常利益		20	24	20	12	78	16	20			37
A S E A N		16	19	13	8	57	11	13			24
東 ア ジ ア		0	1	2	2	5	1	1			2
北 米		2	3	3	2	11	3	4			8
そ の 他		0	0	1	▲ 0	2	0	1			1
調 整		0	0	0	▲ 0	0	0	▲ 0			▲ 0

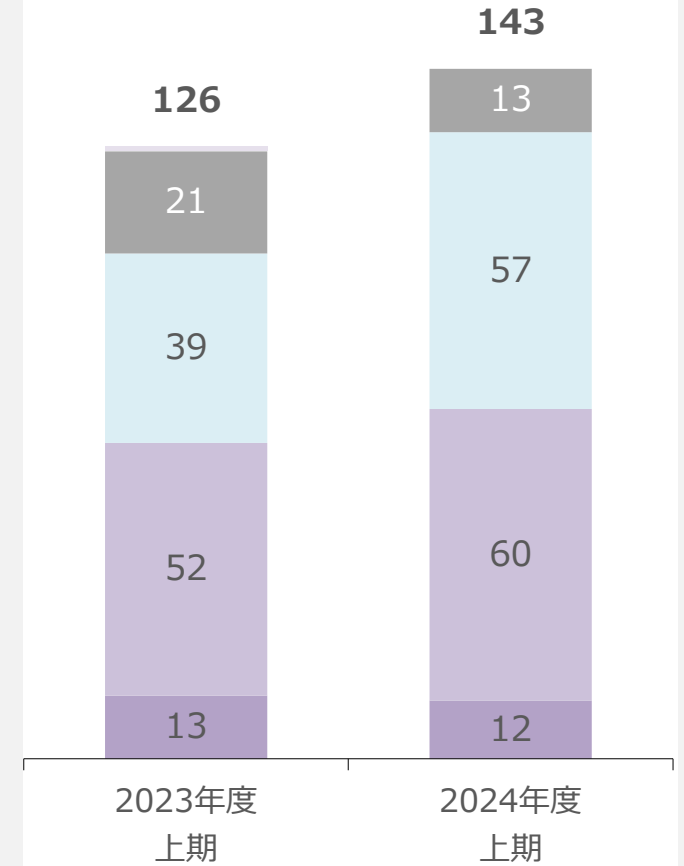
鉄鋼取扱量推移 (海外販売子会社合計)

(万t)

四半期推移



上期累計



その他事業

木材：住宅メーカーとの取引拡大が進んだものの足元での木材価格下落の影響から増収・減益
 機械：大型完工物件が前年同期に比べ少なく減収・減益

	(億円)	2023年度					2024年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
売上高		367	322	325	318	1,332	320	333			654
経常利益		15	4	6	12	38	9	1			10
単体		14	2	5	10	32	8	▲ 1			6
国内連結子会社		1	1	0	2	6	1	2			4
海外連結子会社		—	—	—	—	—	—	—			—
持分法投資損益		—	—	—	—	—	—	—			—
調整		▲ 0	0	▲ 0	▲ 0	▲ 0	0	▲ 0			▲ 0

※ 報告セグメントの区分見直しに伴うセグメント業績修正後

事業セグメント別の実力利益

※当社基幹システムの変更に伴い、為替評価損益の要因分析に関わる精度が高まったため、本第2四半期より為替評価損益についての抽出方法を
変更しております。

(億円)

セグメント	売上高	経常利益	評価・一過性項目				実力 経常利益	2024年度業績予想	
			在庫評価	デリバティブ 評価	為替評価	一過性要因		上期進捗率	通期進捗率
鉄鋼	5,839	141	▲4	－	－	▲0	147	123%	55%
プライマリーメタル	997	34	▲1	0	－	－	35	54%	27%
リサイクルメタル	1,091	14	▲2	4	－	▲0	12	86%	43%
食品	658	8	1	－	－	－	6	69%	23%
エネルギー・生活資材	1,845	51	0	12	－	－	38	77%	32%
海外販売子会社	2,059	37	▲0	3	－	1	32	81%	40%
その他	654	10	▲0	－	－	－	11	111%	55%
調整	▲559	▲16	－	－	4	－	▲21	53%	27%
合計	12,586	281	▲7	20	4	0	263	97%	44%

事業セグメント別の実力利益 (参考:本第1四半期実力経常利益)

※当社基幹システムの変更に伴い、為替評価損益の要因分析に関わる精度が高まったため、本第2四半期より為替評価損益についての抽出方法を変更しております。この変更に伴い、本第1四半期の為替評価損益及び実力経常利益を下記の通り変更しております。

(億円)

セグメント	売上高	第1四半期決算時点での開示済実力利益					実力 経常利益	今回の変更を反映した実力利益					
		経常利益	評価・一過性項目					実力 経常利益	経常利益	評価・一過性項目			
			在庫 評価	デリバ ティブ 評価	為替 評価	一過性 要因				在庫 評価	デリバ ティブ 評価	為替 評価	一過性 要因
鉄鋼	2,939	77	▲2	-	▲1	-	81	77	▲2	-	-	-	79
プライマリーメタル	458	11	0	0	▲3	-	15	11	0	0	-	-	11
リサイクルメタル	540	7	2	▲1	0	-	7	7	2	▲1	-	-	7
食品	293	3	1	-	0	-	3	3	1	-	-	-	2
エネルギー・生活資材	936	14	0	0	0	-	13	14	0	0	-	-	14
海外販売子会社	975	16	0	▲5	0	0	21	16	0	▲5	-	0	20
その他	320	9	0	-	▲4	-	13	9	0	-	-	-	9
調整	▲279	▲18	-	-	▲19	-	1	▲18	-	-	▲10	-	▲7
合計	6,184	123	2	▲6	▲29	0	156	123	2	▲6	▲10	0	138

Run Up to HANWA 2030



阪和興業株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。